

第29回通常総会の会場風景



去る五月十七日(火)、全国刀剣商業協同組合は東京美術倶楽部において第二十九回通常総会を開催しました。早朝から雨模様で足元の悪い

中、全国各地から多数の組合員が参集されました。午前十時、司会担当の松本義行理事より、総会出席状況の報告があり、組合員総数百七十七

名中、出席者六十七名、委任状提出者七十七名、合計百四十四名と過半数に達するため、総会は成立することが告げられました。続いて猿田

副理事長が開会の辞を述べ、次いで深海理事長より挨拶がありました。次に司会者が議長選出に入るところで、会場より「司会者一任」との声がかかり、司会者が深海理事長を指名しました。

指名された深海議長の前で、直ちに議案の審議に入りました。今年度は役員改選はなく、第一号議案から第八号議案が審議されました。議案は次の通りです。

- 第一号議案 平成二十七年事業報告承認の件(清水専務理事報告、以下同)
- 第二号議案 平成二十七年事業報告承認の件(伊波常務理事)
- 第三号議案 会計監査(木村監事・大平監事)
- 第四号議案 平成二十八年事業計画案決定の件(伊波常務理事)
- 第五号議案 役員報酬の件(服部常務理事)
- 第六号議案 経費の賦課および徴収に関する件(服部常務理事)
- 第七号議案 借入金残高の最高限度額に関する件(服部常務理事)

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



第二十九回通常総会を開催

2016.7.15 No.30
発行人 深海 信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合 編集委員会
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentoshou.com/

第30号編集担当
赤荻 稔 飯田 慶雄 伊波 賢一 大西 芳生
大平 将広 木村 隆志 嶋田 伸夫 清水 儀孝
生野 正 瀬下 明 瀬下 昌彦 玉山 真敏
土子 民夫 綱取 譲一 土肥 富康 服部 暁治
深海 信彦 松本 義行 賀真 吉也 持田 具宏

報告 熊本地震災害義援金

当組合では、熊本地震災害の復興を支援するための義援金を呼びかけてまいりましたが、左記の団体・個人より浄財が寄せられましたので、報告します。総額は百五万五千円です。

- 一文字会(玉山祐司)
- 大阪新栄会(吉井唯夫)
- 大阪美術刀剣業組合(猿田慎男)
- 岡山刀剣クラブ(佐藤均)
- 九州刀剣会(旗谷大輔)
- 京都府美術刀剣商組合(林泰行)
- 銀座刀剣倶楽部(深海信彦)
- 新橋刀剣会(新堀孝道)
- 全国刀剣商業協同組合(深海信彦)
- 全国美術刀剣会(伊波賢一)
- 天満会(猿田慎男)
- 東京刀剣倶楽部(笠原泰明)
- 名古屋刀剣倶楽部(後藤一乘)
- なにわ会(猿田慎男・旗谷大輔)
- 西日本甲冑交換会(旗谷大輔)
- 平成会(高橋歳夫)
- 名刀会(高橋歳夫)
- 朝倉万幸
- 齋藤雅稔
- 三浦優子
- 冥賀吉也
- 吉田道夫

刀剣・書画・骨董

和敬堂

土肥豊久・土肥富康

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511

http://wakeidou.com/

質疑応答に移り、町田久雄組合員から、「これから先の見えない世の中で折衝事が多くなると予想される。以前設けていたように、政治家の顧問をおくべきではないか」との提案がなされました。

「刀剣評価鑑定士」検定事業について

組合員に対しては現在「刀剣評価鑑定士」(仮称)の資格検定事業発足に向けて、準備を進めています。「刀剣評価鑑定士」とは、日本刀の価値を判断し、その評価査定を行うに足る十分な知識と経験を有する者に対して、当組合が付与する専門資格です。

今年度内である来年の三月末までに資格を固め、資格検定事業として組合員および賛助会員を対象に検定試験を実施、合格者に対して資格検定証を交付する予定です。

日本刀の評価査定といえは、この組合員限定資格となる「刀剣評価鑑定士」への依頼が常識になること、社会から広く信認される資格になることを目指します。

そのためには、まず受検資格を持つ組合員および賛助会員の全員が取得したくなる魅力的な資格にしなければなりません。講習会を開催して知識の底上げを図ること、刀剣商が知って得となる実利的な設問内容にすることなど、理事会ではこの資格への関心が高まるよう知恵を絞っています。

また、公益財団法人日本美術刀剣保存協会や公益財団法人日本刀文化振興協会、警察庁や文化庁などの関係機関からの賛同や助言を得て、本資格が権威づけられるように努めます。そして、この「刀剣評価鑑定士」資格が社会的に評価され、定着することで、組合員の社会的地位も向上すること、また、また組合員ではない全国の刀剣商が組合員に加入する動機付けとなることにも期待をしています。

将来的には、「刀剣評価鑑定士」資格検定事業で培うノウハウを生かし、一般人を対象とする日本刀検定事業も含めて、日本刀の普及と啓蒙に貢献することを想定しています。

「刀剣評価鑑定士」資格検定事業は、今まさに産声を上げようとしているところです。これから計り知れないエネルギーを注がなければならぬことでしょう。刀剣商業界のこれから十年先、二十年先に思いを馳せ、組合員一人一人が当事者意識を持って育てていただきたく、ご理解とご協力をお願い申し上げます。(松本義行)

美術刀剣・小道具、武具類の
売買、加工及び御相談承ります

大阪刀剣会

吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二丁目一
TEL 〇六-六六三-二二二〇
FAX 〇六-六六四-四四六四

美術刀剣・刀装小道具商

やしま

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」
年間10回位発行予定
購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

金工・刀身彫刻・修理・諸工作一式

柳匠堂

柳村宗寿

岡山市北区平和町二丁目八
TEL 〇八六-二二二-二二二九
TEL 〇八六-二二二-二二二九
工房 岡山市北区磨屋町七二二
TEL 〇八六-二二二-二二二九
FAX 〇八六-二二二-二二二九

刀剣古美術

三峯美術店

町田久雄

埼玉県秩父市野坂町一丁目一六六
西武秩父駅連絡通路町久ビル内
TEL 〇四九四-二二二-三〇六七
FAX 〇四九四-二二二-三〇六七

美術刀剣、小道具、武具類の
売買、加工及び御相談承ります

大阪刀剣会

吉井唯夫

大阪市中央区日本橋二丁目一
TEL 〇六-六六三-二二二〇
FAX 〇六-六六四-四四六四

刀 剣 界

「登録証問題」を考える ③

事例⑤

登録証に関しては、これまでにいろいろなことがあった。行政の対応や手順などに関しては、前号の事例④で述べられている通りで、全国ほぼ共通だと思っ

数年、登録に持参した中に、近江守忠吉の脇指があった。当日は持参した数も多く、だいぶ時間もかかったので、審査を終え、渡された登録証の枚数を確認するだけで帰ってきた。

家に着いて精査すると、ビックリ。近江守忠吉が「遠江守忠吉」になっている。次の日連絡して後日、現物と登録証を持って県庁まで出向き、一日がかりで正確な登録証の発行となった。

つい最近では「濃州住田源一兼元作」という脇指の「一」の字が抜けていることに着目し、気がつき、迷ったが結局、現物確認してもらったこととし、訂正登録証が届くまでに七月月近くかかった。誤字・脱字の場合ははっきりと

事例⑥

過去に交付された刀剣類の登録証に、多くの誤記・脱字などがあるのは周知の通りであり、今後とも名義変更を行う際に、現物と登録証内容の不一致で、名義の書き換えばかりでなく、その刀剣を取り

ていくことができない状況に陥ります。私たち刀剣商は、この問題に直接関わりながら、その責任をどこかへ求めるわけにもいかず、絶えず悶々とした気持ちを抱えていま

登録制度が始まり六十五年以上が過ぎ、所持者が変わっていきながら名義変更されず、現在に至っている刀剣類が大変多くあります。当組合では銃刀法を尊重する立場から、率先して名義変更の重要性を社会に説いてきました。

しかし、新たに名義変更を行う際に、刀剣とそれに付随する登録証と教育委員会の管理する台帳とを照合した結果、内容が一部でも合致しないとなると名義変更ができません。犯罪者扱いされかねないのです。

熊本地震被災地支援活動のご報告

四月十四日、最大震度七を観測する熊本地震が発生しました。第一報では被害の大きさはあまり報道されていなかったため、さほど気にせずいたのですが、十五、十七日の東京出張中に大きな余震が次々と起こり、甚大な被害が伝えられてきたので、支援活動を行う決心をしました。

時を同じくして、地元堺市の竹山修身市長より「堺市と友好関係にある熊本県宇土市の被害が大きく、支援活動を行うなら宇土市を頼む」と言われました。私は「必ず

行ってきます」と返事をし、支援活動の準備に取り掛かった次第です。竹山市長は「皆さま、危機管理室の鈴木課長を私に割り当ててくださり、現地情報などが即座に入手できる体制が取れました。現地で不足している物資が①水、②ブルーシート、③トイレレットペーパーであることも鈴木課長を通じてわかりました。

試みに、私の車アルファードにどのくらいの量の物資が積めるのか？ また、品物は購入できるのか？ 近くのコーナンに行ってみると、ブルーシートは数が少なく、水は一人十ケース(二リットル入り六本)までと言われ、物資の調達も難しいものだと感じました。東日本大震災の支援の際、陸前高田市の小学校に鯉幟を立てたことから、今回も宇土市の小学校に鯉幟を立てようと思い、島津人形店に買いに行っていたのですが、時期が遅く在庫がありませんでした。仕方なく店頭展示品を購入し、出発式の時、堺市長にメッセージを書いていただきました。

所々持ってきた品物も一緒に運ぼうという提案があり、このようなことも官民一体となって行う本道の支援活動ではないかと嬉しく思いました。高速道路の通行証は昔と違い、現地の受け入れの許可が必要で、物資の品目や量などが事前にわかれば発行する仕組みに変わっていました。

堺から宇土までは陸路で七百五十キロ、私も年なのでフェリーを使用することにしました。南港→門司→宇土→門司→南港のルートで昼間の時間を最大限有効に使用しました。通行証のおかげで、進入禁止の

高速道路も通行でき、スムーズに宇土市に到着。無残に壊れた宇土市役所を見て、体育館の仮設市役所に物資を届けました。堺市長のメッセージと鯉幟を宇土市長に手渡し、避難所に物資の輸送も申し出たのですが、当日の物資配給が終了しているためできませんでした。

そのことにより帰りのフェリー乗船まで少し時間ができたので、熊本城の視察をしてきました。無惨に崩れた石垣・櫓

審査関係者や警察官が一振の刀剣に費やすコストは、いくらになるのでしょうか。このような問題の刀剣がまだまだ多くあることを考えれば、再交付あるいは新規登録の過程を見直す必要があります。

教育委員会の管理する登録台帳にも同じことが言えるのではないかと推測します。交付された当初の登録証であるにもかかわらず、記載ミスのために起こる問題を最もよく把握し、的確に処理できるのは、登録証の交付に携わる教育委員会の現担当者の方々です。

筆者はここ数カ月で六振の刀剣を、同じ登録証問題で教育委員会に相談しました。効率的に二つが処理され、登録証を再発行または新規で交付してもらいました。以前に比べ、事務手続きが能率良く行われていると感じました。現状の問題点を真剣に受け止めてつづける表れかもしれません。

また「三つの安心の理由」として、①内閣総理大臣認可の組合が評価鑑定を実施、②全国の刀剣商が参加、③刀剣に真摯に向き

が自ら入ってきました。城の周辺には四、五百年の樹齢と思われる大木が数多く見受けられ、時代の古い城であることがうかがえます。ただ、石垣の粒が小さく、大阪城と大きく違うところではないかと思われました。

私は熊本城を見て、中国故事の中で「樓閣山水図」を思い出しました。どんなに頑丈な建物でもいつか壊れるとの意味を持っている言葉で、実感として伝わるものを感じ取れました。

帰りのフェリーの中で次の支援はどんな形で行えばいいのかを、いろいろと考えながら帰途に着きました。(猿田慎男)



宇土市の皆さんと支援チーム(筆者は右から2人目)

全刀商の活動

インターネット事業委員会からの報告

合います、を掲げています。五月初旬からの公開ですが、お問い合わせやお申し込みも徐々に増えてきており、今後の発展につながってゆくことに期待が高まっています。

全国刀剣商業協同組合

Tel: 03-3205-0601

刀剣類の評価鑑定をご希望なら

全国刀剣商業協同組合(内閣総理大臣認可)では、日本全国より刀剣類の評価鑑定を交付しております。日本全国の刀剣商による組合が行う評価鑑定なので、信頼性が違います。

評価鑑定ホームページのトップ

この度、待望のインターネットによる「評価・鑑定」に特化した当組合のホームページが完成し、全国配信を実施するに至りました。そのコンセプトは、全刀商のページにふさわしい品格の重視と、シンプルで使いやすい構成です。また当然ながらスマートフォン対応です。より多くの評価・鑑定をお考えの方々のアクセスに対応しやすく、顧客目線から「見やすい・連絡しやすい・相談しやすい」に絞った完成となっています。

また「三つの安心の理由」として、①内閣総理大臣認可の組合が評価鑑定を実施、②全国の刀剣商が参加、③刀剣に真摯に向き

が自ら入ってきました。城の周辺には四、五百年の樹齢と思われる大木が数多く見受けられ、時代の古い城であることがうかがえます。ただ、石垣の粒が小さく、大阪城と大きく違うところではないかと思われました。

私は熊本城を見て、中国故事の中で「樓閣山水図」を思い出しました。どんなに頑丈な建物でもいつか壊れるとの意味を持っている言葉で、実感として伝わるものを感じ取れました。

帰りのフェリーの中で次の支援はどんな形で行えばいいのかを、いろいろと考えながら帰途に着きました。(猿田慎男)



風向計

其之十九

深海 信彦

本紙では「登録証問題を考える」と題し、刀剣所持に付帯が必要となる銃砲刀剣類登録証について、主にその法運用や所有者変更届等の手続き上の実例を挙げながら連載している。

昭和二十六年三月から始まった届け出による登録証の発行数は、平成二十八年の今日までの六十五年間に二百五十万点以上にも達し、その登録台帳はこれを管理する各都道府県の教育部門に保管されている。銃刀法による登録制度であるのに、その管轄は警察ではなく、美術的、骨董的、文化的、歴史的な価値を有するにもかかわらず文化庁でも文部科学省でもない。あくまでその刀剣が最初に登録された地方自治体の行政窓口である教育庁や教育委員会である。

この事務を行う部署は自治体によって、文化財保護課をはじめ、生涯学習課、文化行政課、社会教育・文化財保護課、文化財・博物館課、文化遺産課、教育総務局文化課等のさまざまな名称が付けられている。ここには当然文化財の専門家はいる。までも、一般的に考えれば、文化財であるところの刀剣類を保護の見地から守ってこれぞ有名な名称であるのに、善意の刀剣類取得者が所有者変更届を提出した際の対応は、まるで警察の出先機関と同然で、すべての記載事項が合致しているのに最後の発行年月日が十日と二十日との違いがあるとか、銘文の一字

が抜けているとかの理由で受理されない。そのための届け出者の不利益は今までの連載に詳しいが、刀剣類の徹底管理のための関所のような考えで事務に当たっているのだから、文化行政の一端とは思えない扱いをされるケースが多い。一字の誤字、脱字や日付の違いを容認すると、銃刀法に抵触するような犯罪に結びつく懸念があるのである。うか、われわれには想像がつかない。

聞くとこのようにすると、刀剣等が絡む犯罪の立証に当たっては、わずかな誤字や脱字、日付等に誤りがあれば公判維持に支障を来すという。そのような警察行政サイドの立場から文化行政を行えば、刀剣等の扱いは自然、このようなことになるのであろうか。

組合が平成三年十一月に『やさしいかな』を発行し、刀剣等の発見、届け出、所有者変更届ほかの遵守事項の周知徹底を図って以来、所有者変更の届け出は従来より倍増し、よって過去の事務のミス、悪意の改竄等の不都合が露呈して今日の不合理を招いているとも思える。中には、組合さえなければ、組合があのような冊子を出して啓蒙活動さえしなければ、の声も聞かれるが、正しいことをした結果がこれほどの不利益を招くとは、『やさしいかな』発行当時は想像だにできなかったこと

である。ここまで書くと、今回の本欄は刀剣行政の一方的な非難であると思われそうであるが、実はそうではない。前置きが長くなつたが、刀剣は武器であり、美術品として保管するに値しないと言わなければならない窓口対応に泣かされている、善意の所有者変更届出者や発見届出者にとつて、まさに地獄の仏に出会うような理解のある人もいないという話である。差し障りがあるといけないので、実名は控えて事の顛末を記してみる。

Aさんは東京都下B市に居住している七十歳の男性で、父の遺品の刀を一振受け継いだ。ご他聞にもれず登録証のご無知で、ある時、その必要性に気付いて所轄の警察署に届け出た。郷里のC県から東京に持ち帰った五年後のことであった。当然のごとく警察官から不法所持を咎められたAさんは、父親が所持していた時は登録証のようなものが鞘に付いていたはずと主張したが認められず、任意提出の形で没収された。

大切な父親の遺品を没収されたAさんは、何としても納得がいかず、あらゆる方法を探した結果、刀剣の登録は警察ではなく教育委員会であることを知り、二カ月後にこのことを東京都教育委員会に訴えるべく電話をして、窓口の女性職員に伝えるところ、その日の夜八時に登録等の事務担当者D氏から自宅に電話があり、「その刀の銘文と寸法と穴の数は覚えているか」と尋ねられ答えるところ、「あなたのお父さんが居住して

いたC県に問い合わせしてみよう」との返答を得た。一カ月後に、B市の警察署から突然に刀を返却すると連絡が入ったので教育委にその旨を告げると、その刀は昭和〇〇年にC県で登録済みであり、無登録ではなかったことが判明したからだという。所定の手続きを経た登録証の再発行を受けたAさんは、感激のあまり東京都の担当者には心ばかりの感謝の品を贈ったところ返送されてしまった。Aさんはそれでも気が済まず、再び電話をして「あなたが都庁にいる限り、喜んで税金を納めます」と言ったところである。

日刀保「新作名刀展」の表彰式開かれる

平成二十八年度の「新作名刀展」表彰式が五月十四日、主催する公益財団法人日本美術刀剣保存協会(小野裕会長)の四階講堂にて執り行われました。

今回の出品総数は無鑑査十四点を含め全部で七十六点。内訳は、作刀三十八点、刀身彫り四、彫金二十点でした。小野会長の挨拶の後に各部門の表彰が行われました。高松宮記念賞には作刀の森國利文さんが、日本美術刀剣保存協会会長賞には、作刀の加藤政也さんと新保基治さん、刀身彫りの柏木幸治さん、彫金の川島義之さんの四名が、薫山賞には作刀の久保善博さんが、寒山賞には作刀の高見一良さんがそれぞれ受賞されました。受賞者には、小野会長より賞状と賞杯が手渡されました。

優秀賞・努力賞の表彰に続いて、宮入法廣審査員より作刀の部の講評がありました。一点、良い所、改善すべき所の解説がありました。また、焼刃土を置かずそのまま焼き入れをする裸焼きは、作者の個性が出せないとして今まで否定されてきたが、条件次第で焼刃土を自由にコントロールできることがわかった。古名刀のような趣のある刃を焼くには、焼刃土を置く焼き方では表現できず限界があると、裸焼きの必要性を説かれていました。

続いて刀身彫りの部と彫金の部の講評、最後に受賞者を代表して森國利文さんより答辞がありました。特賞以外の受賞者は次の通りです。

◆作刀の部
 (優秀賞) 金田達吉 宮城正年
 (努力賞) 小宮治氣 高橋祐哉
 北川哲士 上皇誠
 (優秀賞) 加藤賢雄 加藤正文美 小宮安氣光 石田智久
 (努力賞・新人賞) 羽岡慎一

◆短刀・剣の部
 (優秀賞) 伊藤重光
 (努力賞) 小澤茂範 小宮安氣光 水木良一

◆刀身彫りの部
 (努力賞) 片岡恒 入江万里 橋本太郎

◆彫金の部
 (優秀賞) 福興裕毅 小栗辰巳 柳川清次
 (努力賞) 長内勝義 大川千光 伊藤桂子 水井良一 武田守夫 池田松竜 上林真穂 山下浩郎
 なお、今年の新作名刀展は、四力所で巡回開催されます。



栄えある特賞を受賞された方々

刀剣博物館 六月十四日
 七月二十四日
 致道博物館 八月三日
 八月二十五日
 川越市立博物館 九月十日
 九月二十五日
 関鍛冶伝承館 十月一日
 十月二十三日
 (木村隆志)

古銭 切手・刀剣 売買 評価鑑定
株城南堂古美術店
 代表
田中勝憲
 〒153-10051
 東京都目黒区上目黒四-1-110
 TEL 03-3710-0776
 090-3308-9622
 FAX 03-3710-0777

刀剣・小道具・甲冑武具
飯田高遠堂
 代表取締役 飯田慶久
 〒161-0033
 東京都新宿区下落合3-17-33
 TEL 03-3951-3312
 FAX 03-3951-3615
<http://www.iidakoendo.com>

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
株美術刀剣松本 富夫義行
 〒278-0043 千葉県野田市清水199-1
 TEL 04-7122-1122
 FAX 04-7122-1950
www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
 日本の伝統文化を彩る
 JAPAN SWORD CO., LTD.
株日本刀剣 伊波賢一 Ken-ichi Inami
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1
 TEL 03-3434-4321
 FAX 03-3434-4324

銀座 **泰文堂**
 〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11
 松崎煎餅ビル4階
 株銀座泰文堂 代表 川島貴敏
 TEL 03-3563-2551
 FAX 03-3563-2553
 フリーダイヤル 0120-402037
<http://www.taibundo.com>

刀剣 高吉
 古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
 連絡先 090-8845-2222
 代表者 高島吉童
 東京都北区滝野川7-16-6
 TEL 03-5394-1118
 FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀剣業界の情報紙である本紙では、記事を募集しています。ニュースや催事情報、イベント・レポート、ブック・レビュー、随筆・意見・感想など、何でも結構です。写真も添えてください。組合員・賛助会員以外の方も歓迎です。ただし、採否は編集委員会に諮り、紙面の関係で編集させていただくことがあります。

シヨウちゃん
健脚商売⑦

埼玉県大宮市 編

今日の俺の行き先は大宮。清水商会の清水敏行氏を訪ねる。理由は二つ、氏が自転車と歴史でつながると思われる火縄銃をお持ちなのと、氏の隣で写真に収まれば、少々不慣れがかさんでいる俺も絶対スマートに見えるから



清水商会の店頭で清水敏行さんと筆者

だ。そう、毎月十七日の競売会場では競り・発句に近い位置に座るあの穏やかな巨漢の紳士だ。国道十七号を向かい風の中を北上。埼玉に入ると、自転車専用レーンが整備されていて嬉しい。俺が若いころはダサイタマなどと悪口を叩かれていたが、新都心を見れば返上だ。

大宮公園のほど近く、大きなお寺の山門に隠れるようにして氏の店、清水商会は佇む。駐車スペースを確保した奥でも広く清潔な店内に刀剣類が見やすく整理され展示されている。その一番奥に清水氏と並んで火縄銃、鍛巻張「出来助右衛門正義作(花押)」は置かれていた。

俺と猿田副理事長は、この一族が後の堺の自転車会社、出来鉄工所に



出来助右衛門正義作(花押)

つながると推測している。つまり、巻張の技術が自転車フレームの鋼管に求められたと思うのだ。前号の町田編で自転車ロードレーススイスチャンピオンのエリック・メヒラー選手の来日に触れたが、メヒラーを呼んだ日本チームのスポンサーが出来鉄工所だ。しかし前々号の理事長の「風向計ではないが、シャープよりずっと前に、良品至上主義にこだわったこの会社は台湾・中国製に押され二〇〇四年に幕を閉じた。

一方で和歌山県在住の前装銃射撃連盟の副会長の出来可也さんと一う人物につながり、紀州筒ではないかと語るのが清水氏。両方、詰めが甘く話が座礁したところで、気持ち良くさいたま新都心へ送り出された。

秋にはこのアリーナを含む街のれ、大西ファミリーの長として長年活躍してこられました。氏は、米国から刀剣類を逆輸入した先駆者でもありました。今から四十五年ぐらい前の国内では日本刀の大ブームであり、例えば近江大塚忠広の重刀が一千五百万円、無銘長義の重刀が八百万円といった良き時代でしたが、そのころの米国ではまだまだ安く、軍刀拵に入った靖国刀が五百ドル、一ドル二百円の換算でも十万円という時代でした。大西氏がどれほどの数

一角を封鎖し、ツール・ド・フランスの名を冠した周回レースが開かれる。海外の一流選手たちに日本人選手がどう迫るかが見どころだ。

さて、往路で目を付けていた日本そば店数軒は二時を回り皆、暖簾を仕舞っている。ここで妥協と折り合いをつけた店はチェーン展開のどんかつ店。あまり本意としないものカツ丼を注文。しかし清水氏と会った今日は、カツ丼なんて怖くない。

氏の巨体は俺にハイカロリーな食べ物に立ち向かう勇気をくれた。清水さん、ありがとう、明日は天丼だ！ (網取譲一) 清水商会 〓 330-0802 さいたま市大宮区宮町三十七 村第一ビル一階 〓 〇四八六四四三四七

刀剣商リレー訪問 25

美術刀剣龍峰堂(玉山泰徳代表)

店主の人柄がにじむ陳列品

今回は大阪の龍峰堂さんへお邪魔してまいりました。お店の近所には有名な日本人形の御問屋が軒を並べ、とても情緒がある。市内の幹線道路でもある松屋町通りに面しているため、交通量も多く、また繁華街にも近いので、立地は素晴らしい。 岡山の玉山名史刀にて、兄である私の父とともに祖父の元で修業に励み、十一年前に大阪の中心街で独立開業し、現在では府内や近隣の刀剣愛好家の憩いの場として愛されている。

若いころに研師として研鑽を積んできた経験があるため、刀剣を見る目は人一倍鋭い。照れ屋で真面目な一方、ハッキリと物言う性格(これは代々わが家の血筋であるのか)により、剽軽な関西人に可愛がられている。

お店は清潔に保たれ、選びに選んだ良品が綺麗に陳列されている。お邪魔させていただくと、心配そうに「商売はどう? やっていいること。その人の人柄や、持っている商品の内容を記憶しておくこと。 ②刀剣はできるだけ丁寧に扱ってください。 ③これは日本だけでなくアメリカであるという認識を持つこと。すべての安全は自己責任であること。 ④日本のディラーは常に注目されているから、行動は慎むこと。等々、現場に合った注意事項を親身になって教えてくださいました。おかげさまで、何一つ問題はありませんでした。心よりお礼申し上げます。



活躍されていたころの大西博さん。ご家族とともに

訃報 大西博氏(美術刀剣・大和)

大西博様が五月六日に八十五歳で亡くなられました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

氏は今年の三月十日、平成会の例会にも出席され、「大刀剣市」には一昨年末で連続して出品しておられました。まさに最後の最後まで現役でした。

ご存じの通り、ご子息の康一さんは大和美術刀剣で、敏之さんは刀剣武蔵野でそれぞれ立派に独立され、弟の孝男さんは大西美術刀剣を、また甥の川島貴敏さんは泰文堂を経営しておら

私には昭和六十三年ごろから十五年ほど、毎年六、七回ずつ米国を訪れ、タンパ、ヒューストン、ダ

初めのころは様子があつかい、不安がいはばいでしたが、そんなとき、親切に教えてくださった一人が大西さんでした。例えば、 ①外国人の顔と名前をいち早く覚

長い間刀剣界に尽力され、お疲れさまでした。どうぞ、安らかに合掌。(冥賀吉也)

NEWS & TOPICS

新堀孝道氏が東古連より 防犯功労者表彰

東京美術刀剣商業協同組合の新堀孝道さんが東京都古物商防犯協力会連合会(東古連)より、防犯功労者として表彰されました。これは年間を通じ、協力会運営活動に功労のあった、同組合防犯協力会会員が対象となっております。

昨年このコーナーでお知らせした通り、東古連は、都内の多岐にわたる各界古物商による任意の防犯団体です。警視庁生活安全部や



新堀さんへは、明治記念館で開催された同連合会の表彰式で、表彰状と記念品が贈られました。これからもますますのご活躍を祈念いたします。(伊波賢一)



美術刀剣龍峰堂の店頭

いってみてはいかがですか。照れ屋なので、最初は口数少なく、難しいような店主だなと思う方もいるかもしれませんが、親しくなるととても魅力のある方です(身内が言うから間違いない!)。(玉山真敏)

美術刀剣龍峰堂 〓 540-0017 大阪市中央区松屋町住吉四-八 〓 〇六六六二七〇一七

『刀剣界』は隔月で発行しています。現在、キャンペーン中につき、ご希望の方に1年間無料でお送りしています。組合員・賛助会員以外の方で継続購読を希望される方は、お名前・送付先・電話・メールアドレス(あれば)を書面でお知らせください。また、お知り合いで刀剣に興味のある方がいましたら、教えてあげてください。(事務局)

特別展 「真田丸」と「真田一族と幸村の城」

真田一族、とりわけ真田信繁(幸村)のことは知っているつもりになってきたが、特別展「真田丸」と「真田一族と幸村の城」で、実は何もわかっていないことがわかってしまった。

真田家は信州小県地方、すなわち上田盆地の北東隅の真田の里に発祥した小豪族なのだが、真田氏が勃興した時代、この地は決してひなびた片田舎ではなかった。

北に向かう大笹街道は、須坂市を経て日本海につながる。江戸時代には北国街道脇往還として認められていた。賑わいは、明治に鉄道が敷かれるまで続いたという。

また、東に向かう上州街道は、鳥居峠を越えていくと上州沼田にたどり着く。今は国道一四四・一四五号になっているが、距離にして百キロほどで、長野県上田と群馬県沼田は思ったよりの近いのだ。

真田氏の物語はこの上州沼田に深い縁があることを、小生は全く知らなかった。

沼田盆地は、越後から三国峠を越えて関東へ出る際の要衝。関東進出をもくろむ上杉氏と、信越をつかろう北条氏は、沼田城をめぐる争っていた。いったんは上杉が掌握した沼田城だったが、謙信が急死して上杉家に跡目争いが起こると、これを好機として北条が奪取。甲斐の武田勝頼は、長篠・設楽が原の戦いで大敗を喫した後、

アオバ企画(株)

高橋一

〒130-0012
墨田区大平四一九二二一三〇八
TEL 〇三三六二二二二三
FAX 〇三三六二二二二五
メール aobake@pj8.so-net.ne.jp

刀剣・宝飾品 高級腕時計・ダイヤ
紀伊国屋
 代表
松浦孝子
 〒372-0812
 群馬県伊勢崎市連取町一八三六一
 TEL 〇二七〇二六二七七七八
 FAX 〇二七〇二六二八八七八

小県地方の諸將に帰属を求めた。昌幸は北条氏に従うと返答したが、実は和戦両方を考えていたようだ。

このとき昌幸は、調略によって沼田城を落としていた。調略とははかりごと・謀略のこと。真田家の先代当主、幸隆の得意技だった。それは息子の昌幸、孫の幸村へと受け継がれていったのである。

昌幸は吾妻・沼田の支配を勝頼から命じられると、もに、さまざまに権限を与えられた。このことは武田家滅亡後に大名としての地位を固める足掛かりとなる一方で、家康との戦いへとつながっていく。

勝頼はやがて織田・徳川連合軍に攻め込まれ、天目山で自害し、武田家は滅亡した。真田一族の命運もはやくこれまで……と思いきや、昌幸は織田・北条・徳川・上杉・豊臣と、めまぐるしく相手を変えて盟約を結び、真田家を存続させていく。ここから昌幸の知略の見せどころ。そのサバイバル戦略は、まさに狐を連想させる。

武田氏滅亡の直前には、織田と一戦交える構えを見せ、上杉・北条の両方に「臣従するので、援軍を送ってほしい」との書状をしたため、使者を送った。しかも、その使者をわざと織田方に捕らえさせるように仕組んでいた。

書状を手に入れた織田方が投降を勧めたため、昌幸は織田方と一戦も交えずに危機を逃れた。昌幸恐るべし。

真田一族と幸村の城
 山名美和子
 角川新書

NEWS & TOPICS 刀文協が真田宝物館蔵品を調査・手入れ

公益財団法人日本刀文化振興協会では、公益目的事業の一環として刀剣類の調査並びに保存手入れに取り組んでいるが、新緑深まる五月十七日、大河ドラマ「真田丸」で脚光を浴びる長野県松代町、真田宝物館にて実施しました。専務理事宮入小左衛門行平、評議員阿部一紀、会員本阿彌雅夫の三名が担当しました。

真田宝物館は昭和四十一年、真田家十二代当主である真田幸治氏が同家に伝わる大名道具を松代町に寄贈したことに伴い、四十四年に開館しました。

昌幸父子は築城したばかりの上田城で、徳川方の大軍を二度にわたって撃退、武門真田の名を天下に知らしめました。しかし、関ヶ原の戦は徳川方の勝利に終わり、昌幸・信繁は高野山に幽閉、昌幸はここで没し、信繁は豊臣方に味方して大坂夏の陣にて壮絶な死を迎えます。

信之は徳川方に付き、その功によって上田城とその領地を継ぐことを許され、元和八年(一六二二)には松代に転封となり、松代十萬石と沼田三萬石を拝領。信之の長男信吉に沼田領を、次男信政に松代領を継がせたことで、真田家は



真田宝物館での刀剣類の調査と手入れ風景

江戸時代に書かれた『真武内伝』によれば、天文十年(一五四一)の武田・村上・諏訪三氏の連合軍と、東信濃の名族海野氏の対戦の際、海野勢にあったのが真田幸隆とされています。幸隆は後に武田信玄に任せ、「信州先方衆」として活躍します。

幸隆の長男信綱、次男昌輝は長篠の戦いで共に討ち死にしたため、三男昌幸が真田家を継ぎ、その子信之、信繁(幸村)らと共に武田・上杉・北条・豊臣・徳川ら強豪の中、時には従い、時には対峙し、ついには上田城を築いて東信濃随一の武将に成長しました。

- 組合こよみ** (平成28年5~6月)
- 5月1日 銀座刀剣倶楽部会場で『刀剣界』第29号編集委員会を開催(再校)。出席者: 深海理事長・眞賀副理事長・清水専務理事・服部常務理事・嶋田理事・網取理事・松本理事・持田理事・大西芳生氏・大平将広氏・木村隆志氏・土肥富康氏・土子民夫氏
 - 17日 東京美術倶楽部にて第29回通常総会を開催。出席67名、委任状77名、計144名
 - 17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加71名、出来高14,807,500円
 - 17日 東京美術倶楽部にて30期第1回理事会を開催。出席者: 深海理事長・猿田副理事長・眞賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤沢理事・飯田理事・佐藤理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・土肥理事・松本理事・持田理事・大平監事・木村監事
 - 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第30号、『全刀商』第25号編集委員会を開催(企画)。出席者: 深海理事長・眞賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・赤沢理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・松本理事・持田理事・木村監事・木村氏・土子氏
 - 6月1日 銀座刀剣倶楽部会場で「大刀剣市」資格検定事業」につき会議。出席者: 深海理事長・眞賀副理事長・清水専務理事・服部常務理事・赤沢理事・嶋田理事・生野理事・網取理事・松本理事・持田理事・木村氏・土子氏
 - 16日 東京美術倶楽部にて第2回理事会を開催。出席者: 深海理事長・猿田副理事長・眞賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・飯田理事・佐藤理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・土肥理事・大平監事・木村監事・土子氏
 - 17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加42名、出来高9,183,500円
 - 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第30号、『全刀商』第25号編集委員会を開催(初校)。出席者: 深海理事長・眞賀副理事長・清水専務理事・伊波常務理事・服部常務理事・佐藤理事・嶋田理事・生野理事・瀬下理事・網取理事・木村監事・大平氏・土子氏

江州屋刀剣店
 小暮昇一
 〒529-1315
 滋賀県愛知郡愛荘町香掛80-1
 TEL 0774914215
 FAX 0774914215
 携帯 09013316217
 09013316217

刀 剣 界

刀職紹介 第21回

〈研師〉水田 吉政さん



水田吉政さんは昭和六十年、佐賀県に生まれる。平成十三年、埼玉県の佐々木卓史師に入門。

きっかけは高校生のとき。研師だった祖父が「県外で研師の修業をさせた方がいいのではないかと」考え、手紙で依頼したが、佐々木師との縁だったそうです。

本人はもとより研師を目指して入門したつもりはなかったのですが、弟子入りの当初は、何をしていたのかもわからず、何をやっていても先生と先輩に叱られっぱなしで、何度も辞めたいと思っただけです。しかし、日本刀に触れ、研磨の勉強に打ち込むうちに、日本刀の魅力と研磨の面白さにどんどんのめり込み、一年、二年と時間が経つにつれて、研師としてやっていく決心がついたそうです。

平成二十二年には、(公財)日本刀文化振興協会主催第一回「新作日本刀・刀職技術展覧会」研磨の部で最高賞の日本刀文化振興協会会長賞を受賞。その後も上位の賞を受賞するなど、その腕前は確かなものと認められています。

十三年間の修業を経て、平成二十五年春に埼玉県桶川市に独立し細工場を構えられました。お客さまの期待に応え、誠心誠意、御刀の研磨に励む日々です。

代金については、状態や長さによって異なるので、相談してみてください。

■連絡先 〒363-0001 埼玉県桶川市加納七二二六 ☎〇四八七七八二七五四一

〈研師〉荻田 直樹さん



荻田直樹さんは昭和五十九年、研師直治さんの長男として東京都立川市に生まれました。高校卒業後、藤代興里師に弟子入り。十年間勉強され、二十八歳のときに生地にて独立されました。

(公財)日本美術刀剣保存協会が主催する刀剣研磨外装技術発表会で優秀賞や努力賞受賞するなど、注目の若手職人の一人です。

本人曰く、現在でも、日本刀にはどうしても武器としてのイメージが残りの、残念なことにも多くの人は日本刀を見ると「怖い・危ない」と思ってしまう。確かに日本刀は武器として作られた歴史もありますが、美術品として大切にされてきた歴史もあるからこそ、今もこれだけの多くの日本刀が残っていると思います。そんな悪いイメージを変えるため、少しでも多くの人に美術品として綺麗だと思ってもらえるように、日本刀を研磨するという仕事を通し、美術品としての価値を高められるように努力しています。昔から大切にされてきた日本刀を少しでも減らさず、次の世代へより良い状態で伝え残していくことが大切だと日々心掛けて、仕事をしています。

なお、代金については、状態や長さによって変わっていくので、気軽に相談してみてください。

■連絡先 〒190-0002 東京都立川市錦町一三二一八 ☎〇四二五三三三六三八

イベント・レポート

薬師寺「仏教と刀」展

奈良の古刹に長蛇の列が…

去る三月一日から五月八日まで、奈良の薬師寺で「仏教と刀」展の刀展が開催されました。今回のポスターに、二振の刀を手にし、真剣な面持ちで真正面を見つめている僧侶が写っています。それはとても印象的でしたが、どんな意味があるのか、全く理解していませんでした。展覧会を拝見しに薬師寺を訪れ、歴史ある行事の場面だと知りませんでした。

薬師寺では、毎年三月二十五日(公財)日本美術刀剣保存協会が主催する刀剣研磨外装技術発表会という法要行事が執り行われます。その期間中、鐘や太鼓が鳴り響く中、咒師(呪師)と呼ばれる方が刀を手に寺内を疾走し、邪悪なものを切り裂き、結界を作って清めるそうです。ポスターの男性がその咒師だと、お寺の方に教えていただきました。

「噂の刀」とあるように、昨今の刀剣ブームの火付け役となったゲームに関する刀剣を中心に展示されており、ゲームから刀に興味を持った女性や、もともと刀好きの方など大勢の方が列を作り、展示の刀を鑑賞しておられました。



薬師寺の境内にて入場を待つ人々

刀文協「日本刀の匠たち」始まる

公益財団法人日本刀文化振興協会(本阿彌光洲理事長)の主催する「第七回新作日本刀研磨外装刀職技術展覧会」授賞式が六月十八日、長野県・坂城町中心市街地コミュニティセンターで執り行われました(次ページに関連記事)。

授賞式に先立ち午前十時より、金沢工業大学畠田道夫教授により「姿・機能・感性評価に着目した日本刀の『美』に関する工業的解析と考察」と題する研究発表が行われました。終了後、参加者のディスカッションが行われ、研究成果は来年もこの会場で発表されることとなりました。

授賞式は十二時三十分より始まり、柳井俊二会長、徳川康久前会長をはじめ百名を超える参加者の注目する中、受賞者の名が次々と発表されました。

作刀部門では、明珍宗裕氏が二年前に経済産業大臣賞に返り咲き、今年独立した上山輝平氏が自己最高の協会会長賞に輝きました。長野県知事は、毎年安定した作品を出品している久保善博氏。銀賞第一席は能瀬貞旭氏が新人賞と併せて受賞、全体として新

年意にそぐわない結果だったものの、見事リベンジを果たした出品者には、大きな称賛の声が上がっていました。毎年、精魂込めてコンクールに挑戦している出品者の仕事を、審査員は真摯に評価しています。

午後一時からのレセプションの席上では、今年から始まった特別公開部門「Sword Oshigata Arts」の表彰がありました。押型が日本刀の文化として多くの方に受け持っていたら、展覧会のイベントの中にも二回の講座が組まれています。

また、村正は十数振展示してあり、あれだけの数の村正を一堂に比較鑑賞できることはあまりなく、貴重でした。四月二日にはこの日限定で大仏利伽羅広光や鄙田青江などの名物が公開され、約六千人の方が来られたそうです。正直、女性の刀剣ブームはすぐに終わると思いましたが、今

また、村正は十数振展示してあり、あれだけの数の村正を一堂に比較鑑賞できることはあまりなく、貴重でした。四月二日にはこの日限定で大仏利伽羅広光や鄙田青江などの名物が公開され、約六千人の方が来られたそうです。正直、女性の刀剣ブームはすぐに終わると思いましたが、今

刀文協「日本刀の匠たち」始まる

授賞式は十二時三十分より始まり、柳井俊二会長、徳川康久前会長をはじめ百名を超える参加者の注目する中、受賞者の名が次々と発表されました。

作刀部門では、明珍宗裕氏が二年前に経済産業大臣賞に返り咲き、今年独立した上山輝平氏が自己最高の協会会長賞に輝きました。長野県知事は、毎年安定した作品を出品している久保善博氏。銀賞第一席は能瀬貞旭氏が新人賞と併せて受賞、全体として新

年意にそぐわない結果だったものの、見事リベンジを果たした出品者には、大きな称賛の声が上がっていました。毎年、精魂込めてコンクールに挑戦している出品者の仕事を、審査員は真摯に評価しています。

午後一時からのレセプションの席上では、今年から始まった特別公開部門「Sword Oshigata Arts」の表彰がありました。押型が日本刀の文化として多くの方に受け持っていたら、展覧会のイベントの中にも二回の講座が組まれています。

授賞式は十二時三十分より始まり、柳井俊二会長、徳川康久前会長をはじめ百名を超える参加者の注目する中、受賞者の名が次々と発表されました。

作刀部門では、明珍宗裕氏が二年前に経済産業大臣賞に返り咲き、今年独立した上山輝平氏が自己最高の協会会長賞に輝きました。長野県知事は、毎年安定した作品を出品している久保善博氏。銀賞第一席は能瀬貞旭氏が新人賞と併せて受賞、全体として新

年意にそぐわない結果だったものの、見事リベンジを果たした出品者には、大きな称賛の声が上がっていました。毎年、精魂込めてコンクールに挑戦している出品者の仕事を、審査員は真摯に評価しています。

午後一時からのレセプションの席上では、今年から始まった特別公開部門「Sword Oshigata Arts」の表彰がありました。押型が日本刀の文化として多くの方に受け持っていたら、展覧会のイベントの中にも二回の講座が組まれています。



催事情報

大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728
http://www.mus-his.city.osaka.jp/index.html

「真田丸展」プレ講座

いよいよ9月17日(土)から当館において、2016年NHK大河ドラマ特別展「真田丸」が始まります(11月6日(日)まで)。「真田丸」はまさに大阪がゆかりの地。この展示では、真田信繁や真田丸に関わる貴重な実物資料が多数公開されますが、とりわけ当館では真田丸に関する新発見・初公開の絵図や、信繁関連の古文書などが特別に展示されます。

本講座では、これら必見の資料をその公開に先立って特別に解説し、展示の魅力を広く皆さんに紹介します。講師は当館学芸員です。

第1回：7月22日(金)

「謎に包まれた武将：真田信繁」

第2回：7月29日(金)

「夏の陣：信繁最後の戦い」

第3回：8月5日(金)

「真田丸の縄張り」と攻防」

※いずれも午後2時～3時30分
各回250名、先着順



身延町なかみ現代工芸美術館

〒409-3301 山梨県南巨摩郡身延町西嶋345 ☎0556-20-4555
http://www.town.minobu.lg.jp/

大隅俊平の直刃の美

大隅俊平刀匠は、新作名刀展において最高位の正宗賞を3度受賞し、平成9年には重要無形文化財保持者(人間国宝)に指定されるなど、直刃一筋に作刀の道を歩み、「直刃の大隅」と称賛されました。備中青江派・山城伝来派・大和伝手掻派に範を取った作品、来国俊を写した作品など、大隅刀匠がその生涯をかけて情熱を注ぎ続けた直刃の日本刀約20口を展示しています。

また、もののふ武士の美の集大成である刀装具約180点も合わせて展示しています。これは鎌倉時代から幕末までの作品で、刀匠・甲冑師・尾張・金山・京・赤坂や柳生などの透鑿、金家、信家、埋忠、古美濃、古金工、後藤家各代、肥後金工、宗珉、昆寛、如竹、尋甫、奈良三作などの江戸金工、長常などの京金工や幕末の一乗、夏雄、清寿の名作揃い。このようなレベルの高い刀装具の展示は稀ですので、ぜひお出かけください。

会期：4月28日(休)～8月7日(日)



星と森の詩美術館

〒948-0101 新潟県十日町市稲葉1099-1 ☎025-752-7202
http://www.hoshi-uta-m.jp/

開館20周年 地鉄の刀匠 人間国宝「天田昭次展」

天田師と弊館との関わりは、昭和の終わりに1口の刀剣を依頼したことに始まります。その七星剣が納められるまで、実に7年を要しました。この歳月に、自家製鋼による地鉄作りの難しさと、その地鉄を活かす作刀へのこだわりがうかがえます。

平成8年には、最高賞である正宗賞の自身3度目の受賞となった備前伝の太刀、そして師が最高傑作と自任した山城伝の太刀(号・未広)が相次いで完成し、この2口を館の所蔵とすることが叶いました。

平成9年には重要無形文化財保持者に認定されましたが、それに決して甘んじることなく、生涯をかけて古伝の再現に取り組まれました。

今展では、館蔵の13口を展覧します。「刀は地鉄」の思いをご堪能ください。会期：6月10日(金)～7月31日(日)



NEWS & TOPICS

富山市に森記念秋水美術館がオープン

「森記念秋水美術館」が六月十一日、富山市に開館し、所蔵名品刀展「秋水の美」と、開館記念特別展「細川護国公の美と永青文庫の

至宝」が始まった。美術館は四階建て延べ床面積二一〇〇平方メートル。製業会社リードケミカル(株)(森政雄社長)が開設したもので、外観は甲冑をイメージしている。屈指の愛刀家として知られ、公益財団法人日本美術刀剣保存協会の評議員を務める森氏が収集した刀約二〇〇点を柱に、日本の近代美術史を代表する横山大観や川合玉堂らの作品、中国の陶芸などを紹介する。館の名称「秋水」は、曇りなく研ぎ澄まされた日本刀を表している。



開館記念式典では、館長の森氏が「世界に冠たる日本刀が集まった。地域の活性化にも貢献したい」と挨拶。続いて、元首相で永青文庫理事長の細川護国氏や、高村正彦自民党副総裁、石井隆一知事、森雅志富山市長、高木繁雄富山商工会議所会頭、中井敏郎県業連合会長、日本美術刀剣保存協会の小野裕会長、千石町内会の河本隆会長が加わり、テープカットを行った。

会期：六月十一日(土)～九月四日(日)
森記念秋水美術館 二九三〇〇六六 富山市千石町一三六 ☎〇七六四二五五七〇〇 http://www.mori-shusui-museum.jp/

た刀剣を展示し、日本刀の持つ奥深い魅力について紹介する。同時に、日本刀に関連する美の世界と刀装具をはじめ、甲冑なども展示される。

刀剣を主たる展示とする美術館・博物館開館のニュースは久しぶりで、当館には刀剣業界のみならず、全国の美術ファンや刀剣女子らからも歓迎と期待が寄せられている。



公益財団法人日本刀文化振興協会主催の「日本刀の匠たち」第七回新作日本刀研磨外装刀職技術展覧会(は六月十八日(土)から八月二十一日(日)まで、坂城町鉄の展示館(長野県埴科郡坂城町坂城六三三二二) ☎〇二六八八二二二二八)で開催中。

入賞者は次の通り。

経済産業大臣賞 明珍 裕介

研究会賞
経済産業大臣賞 本阿彌雅夫
信濃毎日新聞社賞 小野 敬博
金賞第一席 森井鐵太郎
金賞第二席 関山 和進
金賞第三席 水田 吉政
銀賞第一席 阿部聡一郎
銀賞第二席 相良 雄一
銀賞第三席 本阿彌 毅
銅賞第一席 秋田 勇喜
銅賞第二席 小川和比古
銅賞第三席 玉置 城二



「日本刀の匠たち」の展観風景

協会会長賞 上山 陽三
長野県知事賞 久保 善博
金賞第一席 根津 啓
金賞第二席 河内 一平
銀賞第一席 能瀬 勝好
銅賞第一席 満足 浩次

研究会賞
本阿彌雅夫
小野 敬博
森井鐵太郎
関山 和進
水田 吉政
阿部聡一郎
相良 雄一
本阿彌 毅
秋田 勇喜
小川和比古
玉置 城二

研究会賞
坂城町教育委員会教育賞 松本 豊
銀賞第一席 杉山 英明
〈白鞘〉
坂城町長賞 森 隆浩
金賞第二席 森井 敦央
銀賞第一席 古川 和幸
銅賞第一席 田澤 敦嗣

特別公開部門
Sword Oshigata Arts
優秀賞第一席 玉置 城二
優秀賞第二席 関山 和進
佳作第一席 三浦 弘貴
佳作第二席 ポール・マーティン
佳作第三席 阿部聡一郎
(公益財団法人日本刀文化振興協会)

研究会賞
本阿彌雅夫
小野 敬博
森井鐵太郎
関山 和進
水田 吉政
阿部聡一郎
相良 雄一
本阿彌 毅
秋田 勇喜
小川和比古
玉置 城二

研究会賞
坂城町教育委員会教育賞 松本 豊
銀賞第一席 杉山 英明
〈白鞘〉
坂城町長賞 森 隆浩
金賞第二席 森井 敦央
銀賞第一席 古川 和幸
銅賞第一席 田澤 敦嗣

平成28年(2016)盛夏 暑中お見舞い申し上げます

<p>日本刀オークション 葵美術 鶴田一成 東京都渋谷区代々木4-22-11 TEL 03-3337-5553 TEL 03-3337-5553 URL http://www.aojapan.jp</p>	<p>甲冑刀剣・刀装具 福隆美術工芸 網取譲一 東京都中央区銀座2-11-4 TEL 03-3541-8209</p>	<p>美術刀剣 勝武堂 東京都中野区本町4-45-10 TEL 03-3381-3071 TEL 03-3381-3071 URL http://www.shinbudo.co.jp</p>	<p>銀座長州屋 白木良彦 刀剣研師 〒135-0045 東京都江東区古石場1-2-7 TEL 03-3643-3228</p>	<p>株式会社 真玄堂 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-7-17 TEL 03-3225-2784 TEL 03-3225-2784 FAX 03-3225-1144 FAX 03-3225-1144</p>	<p>株式会社 舟山堂 稲留修一 東京都千代田区内神田2-4-13 石垣ビル TEL/FAX 03-5297-8144</p>	<p>刀剣・書画・骨董 株式会社 和敬堂 土肥富康 〒102-8511 東京都千代田区千代田1-2-16 TEL 0258-3338 TEL 0258-3338 FAX 0258-3338 FAX 0258-3338 URL http://www.wakeido.com</p>	<p>つるぎの屋 冥賀亮吉典也 東京都北区西ヶ原4-35-11 TEL 03-3576-1175 TEL 03-3576-1175 FAX 03-3576-1841 FAX 03-3576-1841 URL http://www.wakeido.com</p>
<p>研誠堂 石塚孝夫 〒113-0034 東京都文京区湯島1-2-11 TEL 080-5473-0055</p>	<p>刀剣・古美術 宗亨庵 村中亨 富山県高岡市江尻1235-13 TEL 0766-281222 TEL 0766-281222 FAX 0766-281221 FAX 0766-281221</p>	<p>赤荻刀剣店 赤荻稔 茨城県下妻市下妻1-72-5 TEL 0296-441264 TEL 0296-441264 FAX 0296-441264 FAX 0296-441264</p>	<p>拵合せ致します 日本刀輔師 水野美行 〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町6-1 TEL 03-3353-8810</p>	<p>刀剣鑑定書発行業務 一般社団法人 倉敷刀剣美術館 理事長 佐藤均 〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町173 TEL 086-420-0066</p>	<p>株式会社 刀剣柴田 柴田光隆 〒104-0061 東京都中央区銀座5-6-8 TEL 03-3573-2801 TEL 03-3573-2801 FAX 03-3573-2801 FAX 03-3573-2801 URL http://www.tokenshibata.co.jp</p>	<p>刀 (株) 永和堂 朝倉万幸 朝倉忠史 長野県長野市南郷町1-136 TEL 026-1228-0001</p>	<p>武蔵国一の宮美術刀剣・骨董品居合道古式銃専門店 有限会社 清水商会 代表取締役 清水敏行 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-7 TEL 048-644-7347 TEL 048-644-7347 FAX 048-644-7347 FAX 048-644-7347 URL http://www.suisui.co.jp</p>
<p>飯田高遠堂 飯田慶雄 代表取締役 東京都新宿区下落合3-17-33 TEL 03-3395-1133 TEL 03-3395-1133 FAX 03-3395-1133 FAX 03-3395-1133 URL http://www.yidakoendo.com</p>	<p>優古堂 三浦優子 東松山市高坂769-5 TEL 0493-351559 TEL 0493-351559 FAX 0493-351246 FAX 0493-351246</p>	<p>美術刀剣松山 福岡光男 愛媛県松山市松前町3-13-11 TEL 089-947-5177</p>	<p>古美術品 刀剣収集 売買 ニシコーポレーション株式会社 代表取締役社長 西垣皓司 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-11 虎ノ門ビル4階 TEL 03-6268-8335 TEL 03-6268-8335 FAX 03-6268-1760 FAX 03-6268-1760 MAIL nishigaki@nishicorp.co.jp</p>	<p>銀座 盛光堂 齋藤恒 東京都中央区銀座8-11-14 盛光堂ビル TEL 03-3569-2251 TEL 03-3569-2251 FAX 03-3569-2251 FAX 03-3569-2251 URL http://www.ginzaseikodo.com</p>	<p>やしま 齋藤雅稔 東京都西東京市柳沢6-8-10 TEL 042-463-5310 TEL 042-463-5310 FAX 042-463-7955 FAX 042-463-7955</p>	<p>やしま 齋藤隆久 東京都西東京市柳沢6-8-10 TEL 042-463-5310 TEL 042-463-5310 FAX 042-463-7955 FAX 042-463-7955</p>	<p>刀剣古銭切手古美術品 売買 (株)城南堂古美術店 代表取締役 田中勝憲 東京都目黒区上目黒4-31-10 TEL 03-3710-6776 TEL 03-3710-6776 FAX 090-33208-9612 FAX 090-33208-9612</p>
<p>刀剣小道具 甲冑・売買・工作及び相談承ります。 株式会社 むさし屋 代表取締役 猿田慎男 〒590-0025 大阪府堺市堺区向陵町1-2-19 TEL 072-2257-2880 TEL 072-2257-2880 FAX 072-2257-2880 FAX 072-2257-2880 URL http://www.musashiya.co.jp</p>	<p>飯塚賢路 〒337-0015 さいたま市見沼区連沼1004-11 TEL 048-688-2001 TEL 048-688-2001 FAX 048-688-2002 FAX 048-688-2002</p>	<p>刀剣の店 玉山名史刀 玉山祐司・真敏 岡山市北区田町1-1-11 TEL/FAX 086-2227-4188 TEL/FAX 086-2227-4188 URL http://www.t-touken.com</p>	<p>刀剣茶道具書画 有紀美術 濱崎善弘 〒660-0062 兵庫県尼崎市浜田町2-83-5 TEL 06-6441-6699 TEL 06-6441-6699 FAX 06-6441-6699 FAX 06-6441-6699 MAIL yuki@yuki-hamasaki.jp/</p>	<p>株式会社 美術刀剣松本 松本富夫 松本義行 千葉県野田市清水1-99-11 TEL 04-7122-1122</p>	<p>刀剣・小道具・鍔 刀剣杉田 代表 杉田侑司 豊島区池袋2-49-15 TEL 03-3988-0114 TEL 03-3988-0114 FAX 03-3988-0114 FAX 03-3988-0114 MAIL info@token-ne.com</p>	<p>美術刀剣松山 福岡光男 愛媛県松山市松前町3-13-11 TEL/FAX 089-947-5177</p>	<p>株式会社 泰文堂 川島貴敏 東京都中央区銀座4-13-11 松崎ビル4階 TEL 03-3563-2551 TEL 03-3563-2551 FAX 03-3563-2553 FAX 03-3563-2553</p>
<p>飯田高遠堂 飯田慶雄 代表取締役 東京都新宿区下落合3-17-33 TEL 03-3395-1133 TEL 03-3395-1133 FAX 03-3395-1133 FAX 03-3395-1133 URL http://www.yidakoendo.com</p>	<p>浅草観音裏 美術・骨董・書画・工芸・刀剣・鍔 (株)晴雅堂清水 〒111-0032 台東区浅草2-30-11 TEL/FAX 03-3842-3777</p>	<p>銀座誠友堂 中央区銀座5-11 銀座ファイブ2階 TEL 03-3558-8001 TEL 03-3558-8001 FAX 03-3558-8001 FAX 03-3558-8001 URL http://www.seiyudo.com</p>	<p>(株)日本刀剣 伊波賢一 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-11 TEL 03-3434-4321 TEL 03-3434-4321 FAX 03-3434-4321 FAX 03-3434-4321</p>	<p>株式会社 丸英刀剣 瀬下明彦 瀬下昌彦 栃木県小山市乙女3-7-30 TEL 0285-451015 TEL 0285-451015</p>	<p>もちだ美術 持田具宏 さいたま市中央区上落合1-9-4 TEL 048-855-4792</p>	<p>服部美術店 東京都中央区日本橋3-5-12・2F TEL 03-3274-1517</p>	<p>山城屋 嶋田伸夫 東京都豊島区巣鴨1-21-8</p>
<p>九州刀剣会 出品随時 受付中 福岡市博多区博多駅前2-20-11 大博多ビル TEL 03-5350-1851 TEL 03-5350-1851 FAX 090-3331-1979 FAX 090-3331-1979 日本刀簾谷 簾谷 大輔</p>	<p>毎月20日開催 西日本甲冑交換会 出品随時受付中 事務局 岡山県岡山市北区柳町1-4-18 2F TEL 03-5335-0851 TEL 03-5335-0851 FAX 090-3331-1979 FAX 090-3331-1979 日本刀簾谷 簾谷 大輔</p>	<p>奈良県無形文化財保持者 月山貞利 〒633-0073 奈良県桜井市大字茅原2-28-8 TEL 0744-431733 TEL 0744-431733 FAX 0744-431733 FAX 0744-431733 記念館 42-32330</p>	<p>刀剣書画・骨董 虹雅堂美術舗 笠原泰明 〒142-0063 品川区荏原2-17-13 TEL/FAX 03-3781-6582</p>	<p>売買・加工及びご相談承ります 大阪刀剣会 吉井唯夫 〒542-0073 大阪市中央区日本橋2-7-11 TEL 06-6631-2210 TEL 06-6631-2210 FAX 06-6631-2210 FAX 06-6631-2210</p>	<p>札幌横山美術 横山忠司 〒060-0053 北海道札幌市中央区南三条東1-6 TEL 011-251-1765 TEL 011-251-1765 FAX 011-251-1788 FAX 011-251-1788</p>	<p>刀剣古美術・古書画 (株) 日宝 代表 田澤二郎・数馬 〒252-0334 神奈川県相模原市南区若松6-15-62 TEL/FAX 042-744-5553 TEL/FAX 042-744-5553 MAIL nijupu-55@msb.biglobe.ne.jp</p>	<p>武家文化の美と心 刀剣ギャラリー 樹林 代表 森野幸男 〒803-0812 北九州市小倉北区室町2-2-15 TEL/FAX 093-561-0449</p>